

様式第2号(その4)(第7条、第8条、第14条関係)

整備項目表(公共交通機関の施設)

施設の名称	
施設の所在地	

1 改札口	(1) 改札口の設置(無の場合は、(2)及び(3)の記入不要)	有	無		
	(2) 改札口内の通路のうち、1以上のものは、内法90cm以上	cm			
	(3) 改札口内の通路のうち、1のものには、視覚障害者誘導用ブロックの敷設	適	否		
2 通路	(1) 改札口から各乗降場に至る1の通路に視覚障害者誘導用ブロックの敷設	有	無		
	(2) 改札口から各乗降場に至る通路において高低差(無の場合は、(3)から(5)まで記入不要)	有	無		
	(3) 高低差がある場合の措置	ア 傾斜路等の設置(無の場合は、(4)の記入不要)	有	無	
		イ エレベーターの設置(無の場合は、(5)の記入不要)	有	無	
	(4) 傾斜路等の設置	ア 幅120cm以上(段を併設する場合90cm以上)	cm		
		イ 勾配1/12以下(傾斜路の高さ16cm以下の場合1/8以下)	1/		
		ウ 高低差75cm以内ごとに踏幅150cm以上の踊場の設置	cmごと 長さ cm		
		エ 手すりの設置(勾配が1/12を超え、又は高さが16cmを超える部分に限る。)	有	無	
		オ 粗面又は滑りにくい材料仕上げの表面	適	否	
		カ 踊場及び他の通路の色と識別しやすい色	適	否	
		キ 傾斜路の上端に近接する通路等及び踊場に点状ブロック等の敷設	有	無	
	(5) エレベーターの構造	ア かごの床面積1.83m <sup>2</sup> 以上	m <sup>2</sup>		
		イ かごの奥行き135cm以上	cm		
		ウ 車いす転回に支障のないかごの平面形状	適	否	
		エ かご内にかごの停止予定階、現在位置の表示装置の設置	有	無	
		オ かご内に到着階及び戸の開閉を音声で知らせる装置の設置	有	無	
カ かご内の側板に手すりの設置		有	無		
キ かご内に戸の開閉状態が確認できる鏡の設置		有	無		
ク かご及び昇降路の出入口の幅80cm以上		cm			
ケ かご内及び乗降ロビーに車いす使用者が利用しやすい位置に制御装置の設置		有	無		
コ かご内及び乗降ロビーに視覚障害者が円滑に操作できる構造の制御装置の設置		有	無		
サ 乗降ロビーの広さ幅150cm以上 × 奥行き150cm以上	cm × cm				

		シ 乗降ロビーに昇降方向を音声で知らせる装置 又はかご内の音声で知らせる装置の設置	有	無	
3 階段	(1)	改札口から各乗降場に至る経路に階段(無の場合は、(2)から(6)まで記入不要)	有	無	
	(2)	手すりの設置	有	無	
	(3)	回り段を設置しない	適	否	
	(4)	粗面又は滑りにくい材料仕上げの表面	適	否	
	(5)	識別しやすく、かつ、つまづきにくい踏面の構造	適	否	
	(6)	段の上端に近接する通路及び踊場に点状ブロック等の敷設	有	無	
4 乗降場	(1)	粗面又は滑りにくい材料仕上げの表面	適	否	
	(2)	縁端に点状ブロック等の敷設	有	無	
	(3)	両側に点状ブロック等を敷設するとともに、転落防止柵等の設置	有	無	

備考 1 各項目について、該当するものを で囲み、又は数値を記入してください。

2 印欄は、記入しないでください。

3 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判縦とする。